

JAMSTECにおけるOne Stop Data Shop構築の試み2(統合データベースの現状と今後)

Toward the One Stop Data Shop in JAMSTEC 2 (Achievement and Future Plan of the Integrated Database)

華房 康憲^{1*}, 福田 和代¹, 長谷 英昭¹, 齋藤 秀亮¹, 市山 祐司¹, 佐藤 孝子¹

Yasunori Hanafusa^{1*}, Kazuyo Fukuda¹, HASE, Hideaki¹, SAITO, Hideaki¹, Yuji Ichiyama¹, SATO, Takako¹

¹ 海洋研究開発機構

¹JAMSTEC

1. 背景

海洋研究開発機構(JAMSTEC)地球情報研究センター(DrC)は、JAMSTECが航海・潜航で取得したデータの統合データベースとして「航海・潜航データ探索システム(略称: DARWIN)」を構築し、途中経過を市山他(U01-P01, JpGU Meeting 2012)において紹介した。その後、旧サイトからデータを移行し2012年10月にDARWINを一般に公開した(<http://www.godac.jamstec.go.jp/darwin/j/>)。DrCではJAMSTECが航海・潜航で取得した様々な観測データ・サンプルを収集しデータベース等で公開しているが、DARWINはこれらのデータ・サンプルの一元的な検索・表示・取得サービス(One Stop Data Shop)となることを目的として開発した。本発表ではDARWINの機能とそれによって実現されたOne Stop Data Shopの状況、および今後の展望について紹介する。

2. 現状

DARWIN以前の「観測航海データサイト」が航海単位でデータを整理し公開するhtmlページの集合体であったのに対して、データベース化したことにより、

- ・航海や潜航の情報やそこで得られたデータ・サンプルを航海以外の多様なメタデータで横断的に検索
- ・階層化されたキーワード等を選択することで航海・潜航・データを段階的に絞り込み(データツリー)
- ・必要なデータファイルをバスケットに集積してダウンロード
- ・関連データベース(岩石・コア・生物サンプル、文書および映像・画像)へのリンクによるアクセス

などが可能である。特にデータツリーは、船舶・潜水船名、実施年度の他、実施月や潜航深度、さらに観測データ種別やサンプル種別などを段階的に選択していくことで航海・潜航・データを絞り込むことができる俯瞰的な検索機能であり、専門外の分野のデータなどについても比較的簡単に到達できる。

これらによりユーザはJAMSTECの航海や潜航で取得された多様なデータをDARWIN上の様々なルートで検索し、確認して一時保管、まとめてダウンロードすることができる他、DARWINからサンプル情報や文書データ、映像へもアクセスできる。またDARWINはユーザ登録を推奨しており、登録ユーザへの限定サービスとして複数データファイルの一括ダウンロード、バスケットの内容の保存、ダウンロード履歴の表示等を提供している。

3. 今後の展望

機能についてはログインしたユーザのアクセス履歴の解析により傾向やニーズの把握を行い、シンプルかつ使いやすく改善していく予定である。

また、データファイルの統合や抽出によるデータセットの提供や可視化などが今後の課題である。

DrCでは、JAMSTECが実施する航海以外の観測(係留系、海底設置機器、陸上観測等)も含んだ観測データの地図検索サービス(データ検索ポータル, <http://www.godac.jamstec.go.jp/dataportal/>)、データベースやデータ公開サイトについてのメタデータ検索サービス(データカタログ, http://www.godac.jamstec.go.jp/catalog/data_catalog/)も提供している。今後はDrCが取り扱う情報全体を対象としたOne Stop Data Shopへの発展を検討したい。

キーワード: One Stop Data Shop, 統合データベース, 海洋観測データ, データ管理

Keywords: One Stop Data Shop, Integrated Database, Oceanographic Observation Data, Data Management

ACG40-09

会場:102B

時間:5月19日 16:30-16:45



図: DARWINにおけるデータ検索・ダウンロード